

3Dオブジェクト生成 仕様書

■ 目的

本仕様書は、画像データを基に3D オブジェクトファイル（OBJ形式）を生成し、所定のフォルダに保存し、さらに検証を行うための要件を定義する。

■ 前提条件

以下の条件を満たすこと。

- ・作業ディレクトリに「5000生成物」および「40000生成物」フォルダが存在すること。
- ・各フォルダには対象となる画像ファイルが格納されていること。

■ 処理仕様

対象フォルダ	生成するOBJの面数	保存場所	ファイル名ルール
5000生成物	5000 面	各画像と同じディレクトリ	自動リネームを行うため変更不要。ダウンロードしたまま保存する。
40000生成物	40000 面	各画像と同じディレクトリ	自動リネームを行うため変更不要。ダウンロードしたまま保存する。

■ 検証工程

以下の手順で実施すること。

- ・各画像から生成したOBJファイルについて、対象となる魚の名称と外観が一致しているかを確認する。
- ・作業者は Google 画像検索を用いて対象魚名を検索し、検索結果の画像と比較する。
- ・多数の検索結果が対象画像と類似・一致している場合、一致していると判断する。
- ・一致が不明確、または検索結果の大部分と異なる場合はレビュー工程を設け、必要に応じて修正や再生成を行う。

■ 注意事項

以下の点に留意すること。

- ・OBJファイル名は後続の自動処理に依存するため、改名しないこと。
- ・書き出されたOBJファイルは必ず画像ファイルと同じ場所に保存すること。
- ・魚種照合は必ず Google 画像検索を利用すること。
- ・一致の判断基準は「検索結果の多数が対象画像と一致していること」とする。
- ・処理対象フォルダ以外のファイルは変更しないこと。